

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		市民文化祭事業費 [市民文化祭事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業番号	6
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習 係					課長名	高田 匡章				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 4		
【施策名】 市民文化の振興								総合計画書 (ページ)	41		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	全市民				全市民						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市民文化の普及と向上を図り、市民相互の交流を促進したい。				出展者、出演者、参加者及び観客数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
中央公民館・ハミングホール・奈良橋市民センターを使用し、参加した29団体が日頃の成果を展示及び発表をした。				23日間(10月12日から11月3日まで) ただし、平成31年度は10月12日の開会式・展示は中止となったため、22日間となった。							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	人	11,202	12,497	10,731					
	目 標	②の目標値	人		11,202	12,497					
目標値設定の考え方 全年度の人数(数値)を超えることを目標とする。											
活動指標	③の数値	日	21	22	23						
3 経費	事業費(実績)		円	2,339,303	2,249,013	2,204,230	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源 一般財源		円	2,339,303	1,131,013	1,102,230					
	特定財源		円		1,118,000	1,102,000					
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)										
	所要人数(再任用以外)		人	0.5	0.5	0.15					
	所要人数(再任用)		人			0.30					
	職員人件費(再任用以外)		円	4,126,500	4,122,000	1,246,500					
職員人件費(再任用)		円			1,175,100						
事業費+人件費		円	6,465,803	6,371,013	4,625,830						
4 環境変化等	(1) 開始年度		S46 年度								
	(2) 環境の変化 開始当初は、学校体育館で3日間の開催であったが、参加団体の増加とともに開催日数も増加した。										

事業名称	市民文化祭事業費 [市民文化祭事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ①全体としては実行委員・参加者からは、良かったとの意見をいただいているが、さらなるPRが必要。 ②各参加団体内の高齢化が進み、準備時等の負担が大きい、重いものの運搬ができない、パネル運搬で怪我をしないと当局は動かない。 ③文化祭を通して、団体への入会・活動参加等につながらないため、事業の先細りが懸念される。 ④防災無線でPRして欲しい。 ⑤表彰者は、市報で発表してほしい。 ⑥交付金に余剰金が団体の分は、不足団体に回して欲しい。 ⑦令和2年度は、第50回記念にあたるので、花火を上げる、アドバルーンを上げるなど、派手なことを考えたい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：①共催、②実行委員会、④事業委託 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 中央公民館のパネル運搬の際に「参加者が怪我をしないと対策をとってくれない」との意見があったが、令和2年度予算では対応できなかったため、次年度以降の会場設営委託料に反映できるよう検討する必要がある。 なお、令和2年度中は、怪我が生じないように可能な範囲で配慮する。			
	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 市民文化祭のさらなるアピール、観覧だけでなく参加してみたいと思わせる工夫を行う。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ポスターの掲示場所を増やした（医師会等）。 また、市内広報掲示板には、早めにポスターを掲示し、1か月経過したところで、期日延長シールを張り直し等、周知方法を工夫した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 市民文化祭をアピールするため、ポスター掲示以外の取り組みを検討する必要がある。 ①作成済みののぼりを立てる。 ②中央公民館の2階ガラス窓に大ポスターを掲示する。 ③中央公民館で館内放送を行う。 ④表彰された人を市報（市民情報等）に掲載する。 ⑤補助金は、公平性の観点から大幅な変更はできないことについて理解を得る。 ⑥予算計上時に、会場設営委託料に展示パネル数の増を検討する。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民文化の振興 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 市民の文化度の向上は、市民の幸福・住みやすさにつながるため、東大和市文化協会をはじめとする、市民文化祭への参加団体の主体的な取り組みを尊重しながら、必要に応じて文化芸術活動への支援を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	①令和2年度においては、市制施行及び市民文化祭の50周年に当たる記念の年となるため、関係団体の取り組みに対して、適宜支援する必要がある。 ②長期的な課題として、市民文化祭への参加団体数の減少と高齢化による参加者の減少について、関係者と協議しながら新たな取り組みを検討する必要がある。			